

◆総務省統計局に決めた理由は？

『テレビのニュースで..』

業務説明会に参加して、テレビのニュースなどでよく目にする統計を扱う仕事だと知り、興味を持ちました。訪問して職場の雰囲気もいいなと感じ、統計局を志望しました。

◆現在の仕事と今までに担当した仕事は？

『地図漬けの3年間』

最初に配属された地理情報室では、調査結果を日本地図にする仕事をしていました。結果数値からランク付けをし、一目で日本全国の調査結果が分かるよう、色分けした地図を作成していました。3年半みっちり地図漬けになったあと異動したのが、現在の職場です。経済センサスという全国の事業所・企業を対象とした調査を行う際に、調査の重複・脱漏を防ぐために、日本全国にくまなく設定された調査区というものを管理する係に所属しています。

◆仕事の魅力とやりがいは？

『災害時にも使われる資料』

一番印象に残っている業務は、東日本大震災が起こった際に、津波の浸水範囲概況を示した地図を作成する業務に携わったことです。国勢調査の速報結果を用いて、被害の規模を示す目安の数値も地図と一緒にホームページに掲載しました。

統計は災害時にも使われる大事な資料なのだというのを改めて実感し、この仕事の大切さを再確認できた業務でもありました。

◆みなさんへメッセージ！

『来て、見てください！』

統計局のホームページや私のメッセージ、他にも掲載されているたくさんの先輩方のメッセージを見て、統計局という職場に興味を持てただけなら嬉しいです。

もっと業務について知りたい、職場の雰囲気を見てみたいなど、興味を持たれた方はぜひ官庁訪問にいらしてください。（〆）

私の職場を紹介します



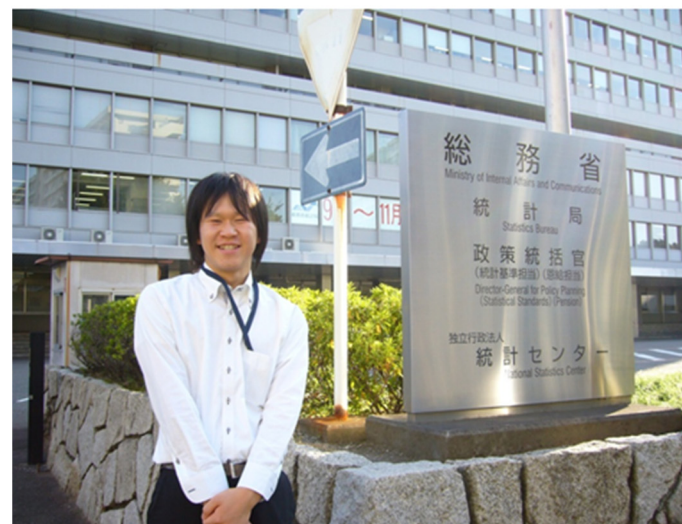
経済基本構造統計課

中山 理恵

Nakayama Rie

平成20年採用

平成20年 地理情報室統計地図係
平成23年 経済基本構造統計課調査区係



◆総務省統計局に決めた理由は？

『統計の世界を知って...』

私は、専門学校の先生に、統計局・統計センターを薦められ、業務説明会で統計が国・地方の様々な政策に利用されていることを知り、興味を持ち、入省を決めました。

◆現在の仕事と今までに担当した仕事は？

『入省してから...』

入省してから二年間、「個人企業経済調査」の業務に携わっていました。「個人企業経済調査」とは、その名の通り、個人企業の経営実態を把握するための調査です。公表業務、用品の作成、地方への出張など、様々な経験を積ませてもらいました。

現在は、「経済センサス-活動調査」という、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を明らかにするための調査業務を行っています。

◆仕事の魅力とやりがいは？

『やりがいある仕事』

前述のとおり、私は、入省一年目に「個人企業経済調査」の用品作成業務に携わっていましたが、作成に苦労した分、実際にできあがった用品が調査に使用されたときには、自らの業務にやりがいを感じました。

◆みなさんへメッセージ！

『統計の知識がなくても大丈夫』

私は、統計についての知識を持たずに入省しましたが、優しい先輩方のご指導のおかげで、業務を通じて、少しずつ理解していくことができました。私自身、まだ知らない「統計」がたくさんあるので、皆さんとともに仕事をし、学んでいけたら幸いです。

経済統計課

石光 将士

Ishimitsu Masashi

平成24年採用

平成24年 経済基本構造統計課
個人企業調査係
平成26年 経済統計課企画第二係



社会に役立つ統計！